

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位 (時間)	科目責任者
人体構造機能学Ⅱ	2年次	必修	講義	2単位 (30時間)	山下 修二
授 業 概 要					
<p>正常な人体の構造と機能について学習することによって、日常生活の維持や疾病の発症機構を理解する。人体構造機能学Ⅱでは、血液とリンパ系、泌尿器系、生殖器系、脳と神経、内分泌系、感覚器系の各器官について学習する。これにより人体構造機能学Ⅰと併せて、人体の構造と機能を総合的に理解し、疾病が起きる仕組み及びそれを予防する仕組みについても理解を深める。</p>					
到 達 目 標					
<p>血液とリンパ系、泌尿器系、生殖器系、脳と神経、内分泌系、感覚器系の構造と機能を理解し、説明できる。また恒常性の維持のため、各器官が相互に関与していることを理解する。また疾病の発生のメカニズムとその症状についても考察できるようにする。</p>					
実務経験のある教員					
学 習 内 容					
回	学 習 内 容				担当教員
1	血液とその成分				山下 修二
2	リンパと免疫系① 全身のリンパ管系、リンパ性器官と免疫に関与する細胞				
3	リンパと免疫系② 免疫反応の仕組み、体液性免疫と細胞性免疫、免疫寛容とアレルギー				
4	泌尿器系 腎臓の構造と機能、尿量の調節機能、尿路				
5	生殖器系① 精巣の構造と機能、男性の外性器				
6	生殖器系② 女性生殖器の構造と機能、女性の性周期、受精と着床				
7	脳と神経① 神経系の構成				
8	脳と神経② ニューロンの活動				
9	脳と神経③ 大脳、小脳、間脳、脳幹の構造と機能				
10	脳と神経④ 脊髄と末梢神経				
11	脳と神経⑤ 自律神経系				
12	内分泌系① ホルモンと受容体、下垂体				
13	内分泌系② 甲状腺、副腎、上皮小体、松果体、その他のホルモン分泌組織				
14	感覚器系① 視覚、聴覚、味覚系				
15	感覚器系② 皮膚の構造と機能、皮膚感覚				
学 習 方 法					
<p>講義はあらかじめレジュメを配布する。授業中は集中し、短時間でも予習をして欲しい。分からないことは遠慮なく質問すること。知識量としてはかなり多くのことを学ぶ必要があるが、その基礎は高校の生物や1年次に学習した生物や化学である。</p>					
評 価 方 法					
<p>〔評価方法〕 科目修了試験70%、月曜試験30%で評価する。</p>					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>〔教科書〕 教科書「カラー図解 新しい人体の教科書 上巻、下巻」(山科正平著、講談社ブルーバックス)</p>					